



平成31年2月1日

各位

会社名 日本アンテナ株式会社
代表者名 代表取締役社長 瀧澤 功一
(東証JASDAQスタンダード・コード番号: 6930)
問合せ先 専務取締役管理本部長 清水 重三
TEL 03-3893-5221

平成31年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成30年5月11日に公表いたしました平成31年3月期通期業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期通期業績予想の修正

(1) 連結業績予想値の修正 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A) (注)	14,900	310	270	160	13.78
今回発表予想 (B)	16,400	750	650	550	47.36
増減額 (B-A)	1,500	440	380	390	—
増減率 (%)	10.1	141.9	140.7	243.8	—
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	14,356	144	155	192	15.37

(2) 個別業績予想値の修正 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A) (注)	14,400	270	240	140	12.06
今回発表予想 (B)	15,800	700	600	500	43.05
増減額 (B-A)	1,400	430	360	360	—
増減率 (%)	9.7	159.3	150.0	257.1	—
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	13,948	122	137	174	13.93

(注) 連結及び個別の「前回発表予想 (A)」のうち、「1株当たり当期純利益」は、自己株式の取得を考慮して修正したものであります。詳細につきましては、平成30年11月1日付「平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 業績予想の修正の理由

平成31年3月期の連結業績につきまして、放送関連機器に関しては、4Kテレビや有機ELテレビ等の出荷台数が増加し、BS/CSアンテナの出荷台数も好転しております。また、新設住宅着工戸数も回復基調にあり、事業環境の改善がみられます。

こうした中で、当社は、「新4K8K衛星放送」の開始に即して、一層の拡販を推進し、需要の掘り起こしに注力しております。また、事業者向け機器販売も、設備投資意欲の高まりを受けて堅調であります。

通信用アンテナにつきましては、民需向けは、通信事業者向け基地局アンテナや通信モジュール用アンテナが期初より好調に推移しており、官需向けデジタル無線用アンテナも底堅い動きになっております。

関連工事につきましては、新築ビル内共聴工事が伸び悩み、電気工事やアンテナ対策工事も減少傾向にあります。一方で、ビル内共聴改修工事は堅調に推移しております。

利益面につきましては、4K8K放送関連機器や第5世代移動通信に対応した製品の開発に向け、設備投資等の支出を計画的に行っておりますが、売上高の伸びによる影響や、継続的なコストダウンに伴い、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、期初予想を上回るものとみております。

このため、平成31年3月期通期業績は、売上高、利益とも、平成30年5月に公表いたしました予想を修正いたします。また、個別業績予想につきましても、上記と同様の理由により修正いたします。

なお、配当予想につきましては、一株当たり21円の子予想を据え置いております。

3. 業績予想の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は市場の需要動向等様々な要因によって予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上